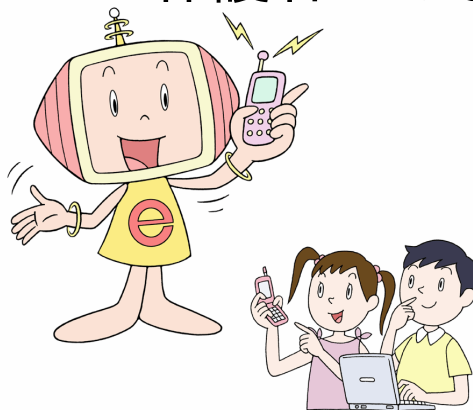


蟹江町立須西小学校

～保護者のみなさまへ～



2009年6月14日

e-ネットキャラバン

講師:林 雅樹

目次:

1. 子どもを狙う危険な落とし穴
2. ネット社会では何が起きているの？
3. ネット社会の7つの常識
4. 家庭でのネット放任主義？
5. 我が家のルールを作ろう！
6. 安心インターネットライフを！！

お話しする前に三つのお願い

最後まで、次の三つのことを忘れないでください。

- インターネット技術やパソコン、携帯電話は人と人とのコミュニケーションを豊かにし、日常生活や勉強、仕事に役立つ、便利で楽しい21世紀の文明の利器（道具）です。
- インターネットや携帯電話等を介して起きている問題の多くは、現在の日本が抱えている社会問題・家庭問題・教育問題等に根ざしており、子どもを見守り、育む大人の責任です。
- 子どもたちが使うインターネットやパソコン、携帯電話は、親の持ち物を子どもに一時貸しているものです。家庭や地域社会のルールやマナーを守るのは当然であり、私たちは社会常識を子どもに教え、守らせる義務と責任があります。

2

きょう、須西小学校へくるまで・・・

教育目標

- 個性を大切にし、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす。
- 子どもたちの学びのゆとりを与え、校風の具現化をめざす。

校訓
正しく やさしく たくましく

めざす児童像
人としての基を築く子ども
一人間性・社会性の豊かさをめざしてー

- ・ 自他のために、自らすすんで取り組むことができる児童
- ・ 自他のために、思いやりの心をもって行動できる児童
- ・ 自他のために、最後までがんばることができる児童

須西小学校校歌

山ノ下の子白鳥
田の畔に
朝日輝く
春の風を
かきよめる
秋の空を
かきよめる
春の風を
かきよめる
秋の空を
かきよめる
春の風を
かきよめる
秋の空を
かきよめる

作曲 山ノ下 白鳥

3

YAHOO! JAPAN ニュース ログイン IDでもっと便利

ニュース トピックス 写真 動画 地域

国内 海外 経済 エンターテインメント スポーツ

国内

子どもとインターネット

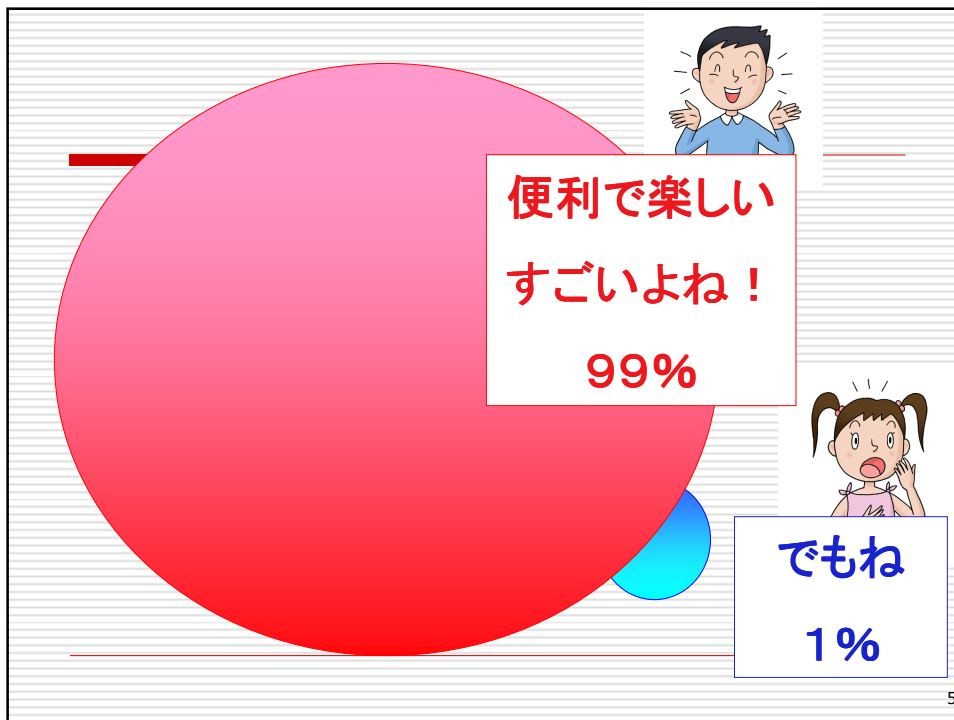
ニュース

ニュース 11件中1~11件を表示 [前のページ | 次のページ]

- ▶ [東京の中学生女子、携帯サイト利用1日平均44.8分、メール23.6回 \(Impress Watch\)](#)
10日 - 18時32分
- ▶ [ネットの“闇”監視 琉大教授らチーム発足 \(琉球新報\)](#) 9日 - 16時5分
- ▶ [EMA、携帯サイトのアクセス制限対象カテゴリーに関する意見書を各社に提出 \(RBB TODAY\)](#)
9月12日 - 19時34分
- ▶ [今年度中をめどに18歳未満既存ユーザーにもブラックリスト方式のフィルタリングサービスを適用 \(RBB TODAY\)](#) 9月12日 - 17時43分
- ▶ [携帯各社、フィルタリングサービスのブラックリストから健全認定サイトをはずすと発表 \(MarkeZine\)](#) 9月12日 - 15時15分
- ▶ [学校裏サイト10万件をデータベース化、教育関係者に公開 \(MarkeZine\)](#) 9月10日 - 13時15分
- ▶ [「ネット問題相談窓口」を22日開設/川崎市教委 \(カナロコ\)](#) 9月9日 - 19時0分

4

東京都教育委員会は9日、7月に実施した「子供のインターネット・携帯電話利用についての実態調査」の結果を発表した。
携帯電話の保有率が
小学校(4年生以上)で38.4%、
中学校で66.4%、高校で96.2%に上った。
 調査は、東京都内の公立学校42校(小学校24校、中学校12校、高校4校、特別支援学校2校)を抽出。児童・生徒1万1032名(小学校4年生以上5050名、中学校4258名、高校1512名、特別支援学校212名)を対象に調査した。■



1. 子どもを狙う危険な落とし穴

親や先生が知らないうちに、見知らぬ人と悪い仲間になってしまう



- ・盗みなど悪いことをするための仲間を募る
- ・お金をもらう目的で見知らぬ大人と出会う
- ・親に内緒にしていると、万一危ない時に助けることができない。



文字や映像で人を傷つけたり、不幸にしてしまう

- ・掲示板に友達の悪口や個人情報を書く
- ・メールやチャットでケンカをする
- ・他人の作ったものを無断借用したり、悪意のチェーンメールを流す

人を巧みにだます道具になる

- ・顔をかくして相手をだますことができる(匿名性、なりすまし)
- ・善意のチェーンメールやウイルスやウソ・デマをばらまく
- ・迷惑メールや無料の会員サイトで、個人情報を集める

人の欲望を刺激する(違法・有害情報)

猥褻画像、出会い系悪用、麻薬や劇薬・爆発物・銃砲の製造購入・闇サイト

6

2. ネット社会では何が起きているの？

インターネットやケータイは上手に正しく使うと、私たちの生活や仕事に大変役立つ便利な道具です。反面、インターネットは使い方を誤ると、又は悪意を持って使うと、大変危険な道具にもなります。ネット社会では自分自身や家族、友人を守るために全員が「ネット社会の常識と安全な使い方」を学んで実践することが必要です。

【自動車の交通安全とよく似ています】

私たちは自動車と道路のおかげで、好きなところへ旅行できたり、離れた場所の野菜や魚を全国に運んだりできます。でも、運転する人や歩行者が決めた交通ルールを守らないと、事故や犯罪が発生します。被害者になる場合も加害者になる場合もあります。だから、車社会では運転する人も歩く人もどちらも交通ルールとマナーをきちんと守ることが大事なのです。

(参考)「ネット社会の常識と安全な使い方」に関するポータルサイト例
ネット社会と子どもたち協議会HP ⇒ <http://net-society.org/index.html>

7

3. ネット社会の7つの常識

- 1. インターネットは自己責任の世界です**
⇒(実社会) 自分の発言や行動には自分で責任を持つ
- 2. すべての情報発信は謙虚な姿勢で**
⇒(実社会) 自己中心的にならず、相手のことを思いやる謙虚さを持つ
- 3. むやみに個人情報公開しない**
⇒(実社会) 知らない人に自分のことや家族のことをむやみに話さない
- 4. 危険なサイトに近づかない、利用しない**
⇒(実社会) 危険な場所には近づかない。暗いところは気をつける
- 5. 著作権・肖像権などを侵害しない**
⇒(実社会) 他人のものを無断で使わない。人権や名誉を侵害しない。
- 6. コンピュータウイルスへの対策を講じる**
⇒(実社会) 自宅の防犯や災害対策を行ない、万一の備えもしておく
- 7. ID、パスワードはしっかり管理**
⇒(実社会) 家のカギやクレジットカードはなくさない。人に預けない

8

3.1 常識その1 「自己責任」

**インターネットは
自己責任の世界です**

日常生活・行動

**自分の発言や行動には
自分で責任を持つ**

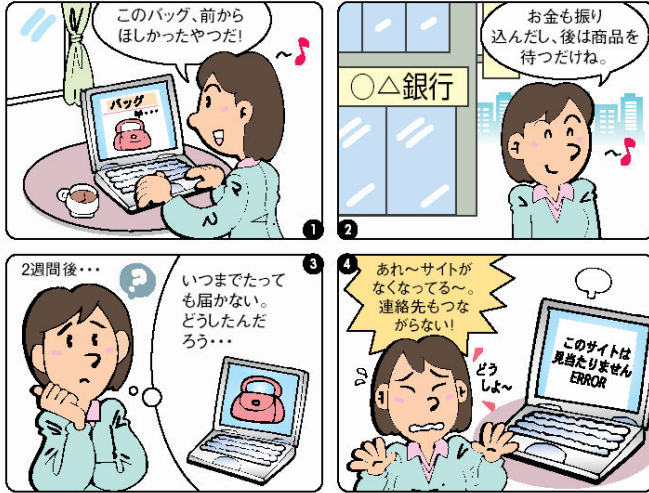
インターネットの世界は直接相手の顔や姿が見えません。
また、書いてあることが本当かどうか、わかりません。
ネット社会は現実であり、悪意のある人も存在します。
そのため、社会経験が少なく、善悪の判断や危険を察知する力が弱い子どもたちは、親がしっかり見守り、指導し、
最悪の場合、親が責任をとる覚悟が必要です。

9

お金を支払ったのに 注文した商品が届かない

ネットショッピング

冊子34ページ



トラブル予防のポイント

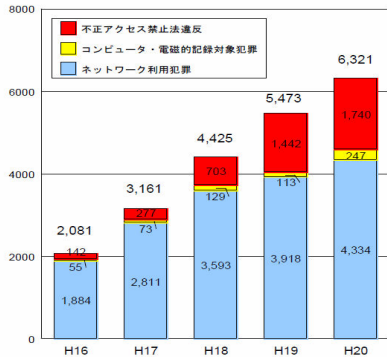
1. 小・中学生は、ネットショッピングやオークションはしない
2. 欲しいものは親に相談して、代行してもらう
3. 通常のお店で買物をして、売買の経験を積むことが大事

10

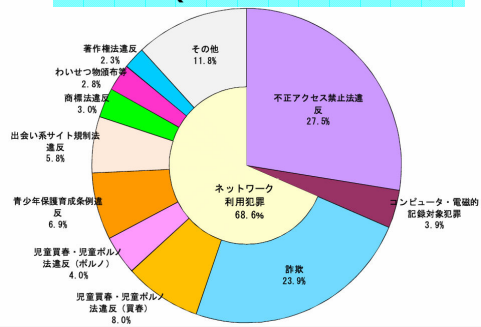
危険に気づいて！ サイバー犯罪発生状況(検挙件数)

- 検挙件数は、H20年は前年比15.5%増加、H16年から5年間で約3倍に。
- 出会い系サイト規制法違反は大幅に増加。367件、前年比+245件、200.8%増加
不正アクセス禁止法違反は1,740件で、20.7%増加。

検挙件数の推移



- ・児童買春 (507件) で前年比8.0%減
- ・児童ポルノ(254件) で前年比32.3%増



出典: 警察庁 平成21年2月26日 広報資料より

11

では、ちょっと体験

Sample Site - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 進む 検索 印刷 印刷 印刷
アドレス(D) C:\05900\My Documents\ボランティア\西根根島中学校\架空請求サンプル\Sample Site1.htm



う~かわいい!
ちょっと怖いけど
ボタンをそっと
押してみよう♪



12

3.2 常識その2「思いやりと謙虚さ」



すべての情報発信
は謙虚な姿勢で

日常生活・行動

自己中心的にならず、
相手のことを思いや
る謙虚さを持つ



インターネットでは、やりとりする相手は感情を持った人間です。目の前の機械や画面ではありません。電子メールやWebページの文章、学校裏サイト(*)などの掲示板等での発言では、相手を傷つける過激な内容になっていないか、常識的な言葉遣いか、送信(書込み)する前に必ず読み返してください。また、携帯電話を使う場合は時と場所、回りの環境を考えて、自己中心的な使い方にならないように。

*学校裏サイト: 子どもたちが作った自分の学校についてのWebサイト。



13

問題

誰が何を間違えているかな？

オフ会の写真をのせました 投稿者 A子 投稿日 2005/11/25 (Fri) 13:55:28 No.1 RES



B子
さん

この前は楽しかったね。
みんなの写真を載せたので
見てね♪♪

やめてください 投稿者 B子 HOME 投稿日 2005/11/25(Fri) 14:02:39 No.3

ひどい人ね！
会った時はいい人と思っていたのに、勝手に載せるなんて。
早く写真を消してください。

14

答え

2人とも間違えている所あり！

オフ会の写真をのせました 投稿者 A子 投稿日 2005/11/25 (Fri) 13:55:28 No.1 RES



A子
みんなに
確認した？

この前は楽しかったね。
みんなの写真を載せたので
見てね♪♪

やめてください 投稿者 B子 HOME 投稿日 2005/11/25(Fri) 14:02:39 No.3

B子
いきなり、
キツくない？

ひどい人ね！
会った時はいい人と思っていたのに、勝手に載せるなんて。
早く写真を消してください。

15

相手を思いやることが大切

□A子(ルールを知らなかった)

- 誰だかわかる写真なら、のせる前に写真に映っている人全員に聞こう。
- インターネットに写真をのせるのは、電信柱に写真をはるのと似ています。
- 他のページにコピーしたり悪用されたりする可能性もあります。
・載せるのがイヤな人がいるかもしれないし(オフ会参加がナイショとか)

□B子(マナーを忘れていた)

- 時間をかけて慎重に書こう。
- けいじ板ではなくメールの方がよかったかもしれない。例えばこんな感じ。
- 「オフ会楽しかったね。写真のせてくれたんだね。ありがとう。でも私は恥ずかしいから他の写真にしてくれないかな？それから他のみんなにも聞いた方がいいかもしれないよ。」

16

3.3 常識その3「個人情報大切に」



**むやみに個人情報
を公開しない**

日常生活・行動

知らない人に自分のこと
や家族のことをむやみに話さない



ネットショッピングやオークション、いろいろな会員制のサイトの利用などで、個人情報(氏名や住所、電話番号、メールアドレスなど)を問われることがあります。そのサイトの信頼性を確かめて、むやみに個人情報を書き込まないでください。プロフ^(※)や掲示板、チャットなどでは不用意に、又は故意に個人情報を公開してはいけません。



※プロフ: 自分のプロフィール(自己紹介)を載せるWebサイト。顔写真なども載せられる。

17

3.4 常識その4「ストップ！危険なサイト」



**危険なサイトに
近づかない、利用
しない**

日常生活・行動

**危険な場所には近づか
ない。暗いところは避
ける、気をつける**



アダルトや出会い系等の危険なサイトをきっかけに犯罪が起
こっています。特に18歳未満の子どもは出会い系サイトの利用
を法律により禁止されています。親は普段からネット関連の事
件報道をチェックし、子どもが危険なサイトを利用しないよう
に予防措置し、注意喚起や指導する責任があります。



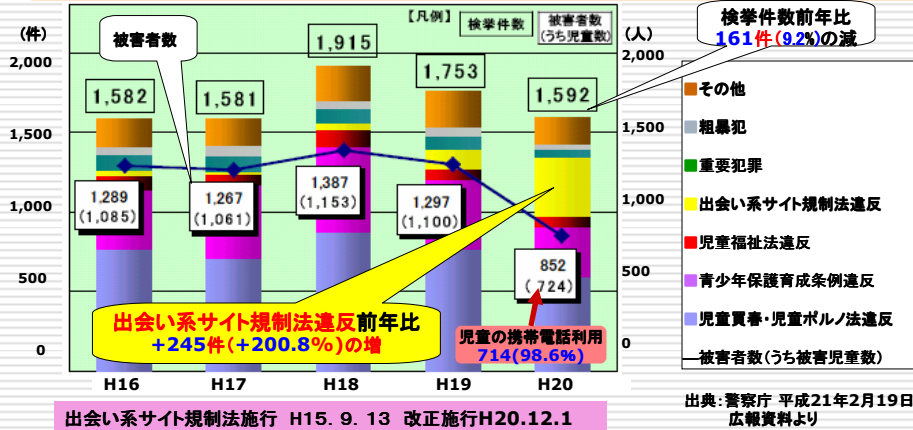
18



「出会い系サイトって」何？

出会い系サイトに関係した事件(検挙数)

H20年被害者852人の内18歳未満が724人(85.0%)、その内女子児童が720人(99.4%)
 H20年出会い系サイト規制法不正誘引の検挙件数は367件(前年比+245件 +200.8%)
 児童の検挙119件(前年比+58件 +95.1%)



出会い系サイト規制法施行 H15. 9. 13 改正施行H20.12.1

出典:警察庁 平成21年2月19日 広報資料より

例えば、出会い系サイトを利用して児童が援助交際を持ちかけた場合、また大人が児童を誘った場合どちらも罰則の対象となる。なお保護者にも防止の責務あり (出会い系サイト規制法: 成人・児童を問わず一律で100万円以下の罰金)

20

被害者の大半が中高生！！

- 被害者852人の24.8%が女子中学生です。前年比 0.8%増
- 被害者852人の38.3%が女子高校生です。前年比 2.9%減

	小学生	中学生	高校生	計
計	2 (±0)	211 (-100)	328 (-207)	541 (-307)
女性	2 (±0)	211 (-100)	326 (-208)	539 (-308)
男性	0 (±0)	0 (±0)	2 (+1)	2 (+1)

※「高校生」には、児童でないもの(18歳)を含む
 ※()は、前年比

被害者の
63.5%

出展:広報資料 平成21年2月19日 警察庁
 「平成20年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」より

21



出会い系サイトとそれ以外のサイトの状況！！ プロフ・ゲームなどの一般サイトが多くなっている。

	出会い系 サイト	出会い系 サイト以外	差	計
検挙件数	1,592	994	-598	2,586
被害児童数	724	792	+68	1,516
女性	720	768	+48	1,488
男性	4	24	+20	28

※**出会い系サイト以外**

被害者が児童であり、次の罪種に該当するものに限る。
 出会い系サイトに関係した事件の検挙状況の統計のとり方とは異なる。

出展：広報資料 平成21年2月19日 警察庁
 「平成20年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」より



「裏サイトって」何？

いわゆる「学校裏サイト」
 サイトの実例

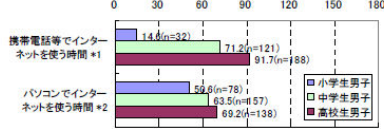
一般的な「裏サイト」
 の実例

共通点：
 携帯電話でのアクセスに特化

4. 家庭でのネット放任主義？

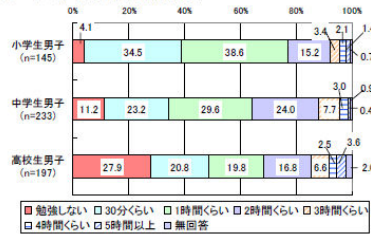
内閣府政策統括官「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査」

図3 インターネットの1日平均利用時間(男子) (分)



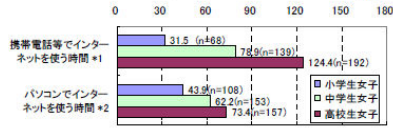
*1携帯電話等の利用者のみへの質問
*2パソコンでインターネットを利用する人のみへの質問

図5 1日の平均的な学習時間(男子)



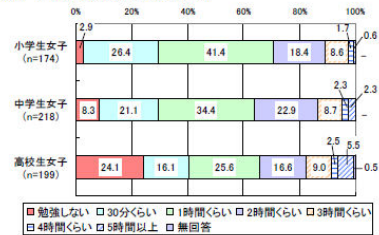
(※)「携帯電話等」とは、携帯電話及びPHSをいう。以下同じ。

図4 インターネットの1日平均利用時間(女子) (分)



*1携帯電話等の利用者のみへの質問
*2パソコンでインターネットを利用する人のみへの質問

図6 1日の平均的な学習時間(女子)



24

文部科学省も

事例① メールの落とし穴

待望のケータイを買ってもらった小学校5年生の美沙。さっそく親しい友だちとメール交換を始める。家にいても友だちと繋がっていられることに大喜び。メールが届くとすぐに返信を打つ。しかし、時間に関係なく次々と入ってくるメールに振り回される美沙。ちょっと返信が遅れただけで友だちとの関係がギクシャクしていく。夜中まで続くメールのやりとりで睡眠不足になり、生活リズムも乱れてしまう…。



事例③ プロフの危険な誘惑

中学1年生の由紀がプロフを作ってみると、イケメンの高校生「タケ」からの書き込み。プロフ上でタケとのやりとりが始まる。親に成績のことで叱られた時も、親身になって相談に乗ってくれるタケに魅かれていく由紀。やがてメールアドレスを教え、二人だけでメール交換が始まる。そしてタケからの誘いで実際に会うことに。心躍らせて待ち合わせ場所に向かう由紀。しかし、現れたのはタケの兄を名乗る男だった…。



事例② ケータイに忍び寄る罠

いつもケータイでゲームをして遊んでいる小学校6年生の勇太。ケータイを買ってもらう時に人気のゲームサイトを利用したいからと母親に頼んでフィルタリングをはずしてもらった。ある日、勇太のケータイに懸賞応募のメールが届く。ゲームソフトが500人も当たることに興味を持つが、なんか怪しいので「配信停止」をクリックする。すると架空請求のメールや卑猥な内容のメールが次々と入ってくるようになる…。



事例④ 学校裏サイトの闇

学校裏サイトでの情報交換を楽しんでいた中学2年生の英雄。軽い気持ちから学校でちょっとトラブルった女子の悪口を書き込んだ。するとサイトはすぐに盛り上がり、女子へのネットいじめが始まってしまう。翌日、女子は登校してきたが、クラスの雰囲気はいつもと違う。やがて女子の援助交際のほめかす偽のプロフまでネット上に流れ、裏サイトはさらに炎上。次の日から女子は登校してこなくなる…。



25

ネット推進団体も

IA *Japan*

財団法人インターネット協会
Internet Association Japan

| [ホーム](#) | [サイトマップ](#) | 更新日:2009年5月12日

インターネットと子どもに関するページ

[資料・パンフレット](#) | [関連業界/団体からのお知らせ](#) | [セミナー・国際活動](#) | [参考統計データ](#)

◆資料・パンフレット

- ◇「ちょっと待って、ケータイ」
発行:2009年1月
- ◇「ちょっと待って、ケータイ」
発行:2008年2月
- ◇「ちょっと待って、ケータイ」
発行:2006年9月
- ◇「ちょっと待って！(はじめてのケータイ)」
発行:2009年1月



26

オタク？ いや立派な病気です！

Hatena::Keyword:

ようこそゲストさん

はてなキーワード > メール依存症

メール依存症

メール依存症 めーるいそんしょう (ウェブ)

主に、携帯電話のメールに依存している若者や、メールチェックに神経を尖らせるネットユーザーに多々見られる症状。「メール中毒」とも言う。

メールが来ないと不安で仕方がなくなり、重症になると冷静を保っていることが困難になるのが、この症状の特徴か。

ネットを通じてしか人間関係を構築できない、そんな人間関係が希薄な現代社会が生んだ、現代病の一つではないだろうか。

<http://d.hatena.ne.jp/keyword/より>

27

男女での違いは？

2)マス4 媒体からインターネットまでを合わせた1日のメディア接触総時間(性年齢別比較)

	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット (PCから)	インターネット (携帯電話から)	08年トータル(分)	06年トータル(分)
合計	161.4	35.2	28.5	17.1	59.4	17.7	319.3	335.2
男 10代	149.7	17.8	11.6	22.0	83.4	51.9	336.4	350.7
20代	107.7	27.6	15.5	15.2	97.7	15.3	279.0	323.0
30代	144.3	30.7	15.4	18.7	67.3	23.8	300.1	356.3
40代	150.6	29.4	27.1	16.4	91.6	16.0	331.0	310.0
50代	178.9	78.9	36.8	13.6	64.8	14.0	386.9	305.3
60代	195.2	59.8	68.2	23.8	46.6	3.8	397.4	387.3
女 10代	168.4	10.9	8.7	21.9	40.4	74.1	324.4	334.4
20代	170.6	17.6	12.6	19.7	66.8	44.0	331.3	357.4
30代	151.1	23.0	18.8	14.7	51.2	11.2	270.1	322.8
40代	164.1	17.7	24.7	14.5	44.3	6.7	272.1	318.1
50代	172.7	40.5	40.0	14.6	29.5	5.0	302.2	321.5
60代	204.0	50.6	55.1	18.4	18.9	3.9	351.0	340.4

博報堂DYメディアパートナーズ「メディア定点調査2008」 28

5. 我が家のルールを作ろう！

私自身の場合

1. **みんなで「楽しく使おう」。**
⇒ネットはみんなのもの。うまく繋がったり探せたらラッキー！
⇒「使われている」と思ったら休憩。「わからない」と思ったら相談。
2. **アーティストにはお礼をしよう。**
⇒音楽でもソフトでも、作った人はこれで生活しています。
著作物にはお金を払おう。
⇒お金が無いときは図書館。足りない時はレンタル。
でも無料や懸賞は気をつけよう。
3. **知らないメールは絶対に開けない。**
⇒読まない。開けない。すぐに消す。間違って開けた時はすぐに知らせよう。
4. **一度入力したものは取り消しできない。**
⇒ネット上での入力には気をつけて。特に買い物は事前に相談する。

29

5. 我が家のルールを作ろう！

考えよう！我が家のケータイルール

NTT Docomo様HPより

<http://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/kids/rule/example/elementary/index.html>

我が家の「ケータイ利用ルール」

●電池は、每晚必ず充電し、外出先では電池がなくならないよう、気をつけて使います。ケータイを紛失した時はすぐ保護者に伝え、拾ってくれたという人にも付いてはいきません。

アクセス制限 (Web 制限)

●ケータイは、防犯ブザー・通話・メール・カメラの機能に限り利用します。利用する時間帯は保護者と決めた、19時までとし、使用する時間量は利用の都度、保護者に相談します。

自宅で利用する際は保護者と決めたりリビングルームのみで行い、アプリ利用等で料金が発生する場合は、その都度保護者に相談します。

●もし、不安や怖くなった時、知らない人に襲われそうな時、防犯ブザーのスイッチを引き、勇気を出して大きな声で助けを求めます。一人で外出する時は、暗い道を歩く時は手に握ります。日頃は、遊びやイタズラでは使いません。ブザーを鳴らした後の行動も考えておきます。

ダイヤル発信制限

登録外発信拒否

●通話は、緊急時の連絡手段。話す時は、固定電話を使いましょう。通話する相手は家族・学校や習います。

●メールの利用は家族・学校や

●ケータイのカメラは、保護者撮影対象は家族・自分の家の中

1. お子さまの発達に合ったルールをつくる
2. お子さまと話し合いながら決める
3. ルールにそってケータイの機能を設定する
4. 一度決めたルールも“定期的に”見直す
5. 日常のネット利用を通して指導する

30

5. 我が家のルールを作ろう！

私に今、小学生の娘がおり

持たせることに決めたら

1. **携帯はお父さんのもの。みんなで「楽しく、ただし時間を決めて」使おう。**
⇒ ゲームと合わせて、一日30分以上は使わない。
⇒ 家にいるときはリビングで使う。学校のきまりは絶対に守ります。
⇒ きまりを守っているか、時々チェックします。違反したら取り上げます。
2. **お母さんがOKをするまで、お友達とのメールはしない。**
⇒ 最初はお父さん・お母さんとメールしあって練習しよう。
メールのマナーは最初の勉強が大事。
3. **お父さんがOKをするまで、ネットの機能は使わない。**
⇒ ネットのマナーも、最初是一緒に使って勉強しよう。
4. **知らないメールは絶対に開けない。**
⇒ 読まない。開けない。すぐに消す。
もしお父さん・お母さん以外からメールが来たら、すぐに知らせよう。

31

6. 安心インターネットライフを！！

- インターネット上での行動は、日常生活での行動と同じです。
 - インターネットを安心・安全に使うには、私たちが日常、人との付き合いの中で身につけている危険を察知して避けたり、他人を思いやる言葉使いや勇気ある行動がそのまま当てはまります。
- お互い同士や子どもたちとよく話し合ってください。
 - インターネットという道具は本来何のために使うか、危険はどこに潜んでいるのか、我が家のルールは何にしようかなどよく話し合っネット利用に関する家庭・社会のルールを必ず作ってください。特に家庭のルール作りは親子で対話する良い機会になります。
- 正しく使えば、インターネットは怖くない！
 - インターネットは危ない、怖いとだけは思わないでください。「ネット社会の7つの常識」を守って、それでも万一困ったこと、嫌なことがあったら、まずは身近な方（お子様・先生・保護者・地域の皆様）に相談してみてください。

32

【参考】もしも困ったら・・・お役立ちサイト一覧

- 【ネットトラブル事例&相談窓口】
 - ☆独立行政法人国民生活センター <http://www.kokusen.go.jp/>
 - ☆全国の消費生活センター一覧 <http://www.kokusen.go.jp/map/>
 - ☆インターネットホットライン連絡協議会 <http://www.iajapan.org/hotline/>
 - ☆インターネットホットラインセンター(違法・有害情報の通報受付) <http://www.internethotline.jp/>
 - ☆警察庁 サイバー犯罪対策 <http://www.npa.go.jp/cyber/>
 - ☆インターネット安全・安心相談(警察庁) <http://www.cybersafety.go.jp/>
 - ☆@police (警察庁セキュリティポータルサイト) <http://www.cyberpolice.go.jp/>
 - ☆都道府県警本部のサイバー犯罪窓口一覧(警察庁) <http://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>
 - ☆電気通信サービスに関する相談窓口(総務省 電気通信消費者相談センター) http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/top/madoguchi/tushin_madoguchi.html
- 【迷惑メール相談窓口】
 - ☆迷惑メール相談センター((財)日本データ通信協会) <http://www.dekyo.or.jp/soudan/top.htm>
 - ☆撃退!チェーンメール (上記の迷惑メール相談センター内サイト) <http://www.dekyo.or.jp/soudan/chain/topchain.html>
- 【ネットショッピング、ネットオークションのネットトラブル事例&相談窓口】
 - ☆通販110番((社)日本通信販売協会) <http://www.jadma.org/>
- 【著作権の取り扱い】
 - ☆(社)著作権情報センター <http://www.cric.or.jp/>
- 【フィルタリング(有害サイトブロック機能)】
 - ☆フィルタリング情報ページ((財)インターネット協会) <http://www.iajapan.org/filtering/>
- 【情報モラルと青少年育成関連ポータルサイト事例】
 - ☆ネット社会と子どもたち協議会HP ⇒ <http://net-society.org/index.html>

33

**ありがとうございました。
これからもネット・携帯を
安全に・楽しく利用しましょう！！**

